

	子どもの声・姿・意識	活動の展開	教師の関わり(手立て)	単元の評価規準
一学期	「なにができる？」(7)			<p>○知識・技能◎思考・判断・表現●主体的に学習に取り組む態度 <キャリア・未来デザイン教育の視点> [探究的な学びの視点]</p> <p>○自分たちと社会との関わりや地域に出かけることを通して、地域にはすてきな場所があり、そこにはすてきな人がいることを知り、そのよさを理解している。 <③課題対応能力> [①課題を見出し、把握している]</p> <p>◎オリジナルドリンクについて、仲間と協力して話し合いながら意思決定することができる。また、行動して気が付いたことをもとに、次の活動を具体化するための振り返りや話し合いをしている。 <①人間関係形成・社会形成能力> <③課題対応能力> <④キャリアプランニング能力> [②課題解決の方法を考えている] [③協働して学んでいる] [④学びを振り返り、次につなげている]</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 協力できた！保護者に感謝してもらえた！積極的に動くことができた！作ったものを実現できた！ 最後までできなかった。目標にたどりつけなかった。もっと広めたかった。相手のことを考えられなかった。 家族に感謝を伝えたい！・伝統を生かしたい！・関わる人を明るくしたい！子どもだけでやりたい！・環境をよくしたい！米の活動を続けたい・学校や地域のみんなを呼びたい。 自分たちの力で何が作れるのだろうか。美味しく作るにはどうしたらよいだろう？・材料は何が必要だろう？・作る専門家にコツを教えてくださいな。 	<ul style="list-style-type: none"> ○昨年度の振り返りをする。 ○「社会とわたし」というテーマを考える。 ・誰か知らない大人がやっていること・下級生に対して学校のリーダーとして関わっている ・保護者との関係もそのひとつ・友達と遊ぶこと ○私たちに何ができるかを考える(目標の設定)。 ○私たちにできることをもとに、やってみたいことについて考える。 ○調査結果をまとめ、テーマを見直す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より具体的に思い出せるように、元のクラスで分かれて昨年度の学習で生かしたい点と課題点を挙げるようにする。 ・共に楽しむ仲間の一人であることを念頭に、児童と同じ目線で取り組み続ける。 	
二学期	「やりたいことをやってみよう！」(27)			
	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちのオリジナルドリンクを作りたい。 美味しいドリンクを追求したい。 ドリンクに合う食べ物は作れないかな。 ドリンクに合うパンやスイーツを作りたい。 地域のお店にインタビューして、アドバイスをもらいたい。 自分たちが今まで行ってきた総合の経験を生かせないかな。 地域の人とつながるためにはどうしたらよいかな。 自分の得意なことを生かしたい 	<ul style="list-style-type: none"> ○自分たちで作れるドリンクを調べる。 ○ドリンクに合う食べ物を調べる。 ○調理に向けて材料や費用をまとめる。 ○実際に調理し、理想とする味や形になるまで追究する。 ○アドバイスを貰うために地域のお店にインタビューする。 ○自分たちの活動をまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1学期の活動を振り返り、効率よく素早く準備できるよう環境を整える。 ・地域の方と関わりをもっておく。 ・安全管理を徹底して行う。児童もその意識を強くもつよう促す。 ・調理など、児童がやってみたいと思ったことに挑戦する機会を設ける。 	<p>○桜町 Fes で発表することを通して、相手や目的に応じた話し方を理解し、自分の思いを伝えている。 <①人間関係形成・社会形成能力> [②課題解決の方法を考えている] [③協働して学んでいる]</p> <p>●オリジナルドリンクなどを作り、よりよく改善するために気が付いたことをもとに、自分が得意なことを生かして関わる活動をしている。 <②自己理解・自己管理能力> [②課題解決の方法を考えている]</p> <p>●自分のやりたいことを決めて、活動の中で友達と役割を分担したり、自他の考えのよさを生かしたりしながら、やりたいことに没頭している。 <①人間関係形成・社会形成能力> <②自己理解・自己管理能力> [②課題解決の方法を考えている] [③協働して学んでいる]</p>
三学期	「残せるものを考えよう！」(18)			
	<ul style="list-style-type: none"> これまでに関わってくれたみんなに感謝を伝えたい。 みんなを呼んで一緒に楽しみたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○発信方法、発信内容を考える ○考えた発信方法・内容が適切かどうか再考する。発表内容を見直す。 ○学年で、お互いのまとめたものについて紹介し合う。 ○発信内容を見直す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・誰に何を伝えたいのか、私たちはどうしたいのかという視点をもとに互いの情報を交換し合い、次回の活動に生かせるようにする。 	

材(ドリンク)のもつ価値

- ・ドリンクなどの食材は、生活の中で身近な材であり、家庭科や家庭生活の中で加工した経験があり、自由な発想を引き出しやすい。
- ・地域のお店や商店街と交流を深めることで、自分たちの地域の魅力に気付くことができる。
- ・家庭科の学習や昨年度の米の探究活動で、お茶のよさに気付いている児童が多く、外で楽しむことを通して新たなよさに気付くことができる。
- ・今まで飲んだことのある飲み物を参考にし、自由な発想を生かして取り組むことができる。

材(ドリンク)に寄せる子どもたちの思いや願

- ☆自分たちのイメージしたものが少しずつ形になっていくことの面白さや喜びを感じている。
- ☆自分たちが作ったものを学校や地域のみんなにも楽しんでほしいと願っている。
- ☆自分たちの地域のよさを再発見し、他の人にも気付いてほしいと願っている。
- ☆一つの目標に向かうことの成功体験が充実した学校生活につながると考えている。

★話し合い、計画を立て、実行に移し、自分たちの理想の物を作り上げたいと願っている。

★…子どもたちの深層にある求め(子どもたちが一番やりたいこと・願い)